

ウンシュウミカン園におけるマルチ栽培による褐色腐敗病の抑制

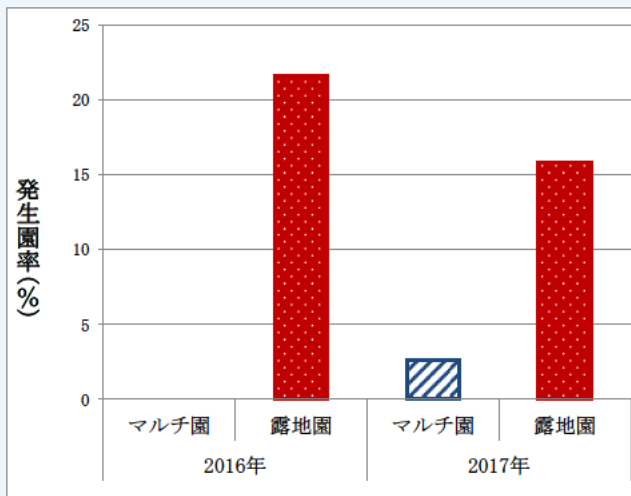
利用対象：ウンシュウミカンをマルチ栽培する生産者

カンキツに感染すると腐敗被害をもたらす褐色腐敗病は、台風等の激しい降雨による土壌の跳ね返りによって発生が助長されます。



ウンシュウミカンの高品質化を目的に園地へ導入されているマルチシートの敷設（マルチ栽培）による物理的防除効果を検討しました。

【調査園における褐色腐敗病発生園率および発生度】



※調査園地は熊野市および南牟婁郡（御浜町、紀宝町）の極早生ウンシュウミカン園。1園地につき20樹調査。
調査日は2016年9月23日、2017年9月22日

マルチ栽培によって土壌の跳ね返りを防止できるので、露地栽培よりも被害を抑えることができます。

注意

- ・農薬による予防も併せて行うことが必要です
- ・マルチ栽培による安定した防除効果を得るためには
 - ①土壌が露出しないようにマルチシート敷設を完全に
 - ②シート上を清浄な状態に保ちましょう
 - ③園地内に雨水が滞水するのを防ぎましょう



お問い合わせ先	紀南果樹研究室	駒田達哉、須崎徳高	電話 05979-2-0008
	中央農業改良普及センター	西川豊	電話 0598-42-6323
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm		